

道内各地にブラックアイスバーン出現！ 峠で、橋で、カーブで、スリップ事故多発！

夕暮れ・夜間 歩行者、自転車の事故防止

- スピードダウンと安全確認を徹底しましょう。
- 早めのライト点灯とハイビームの活用を励行しましょう。
- 横断歩道以外の場所でも、歩行者が横断することを意識しましょう。

「歩行者」を見かけたら…「かもしれない」運転を

「かもしれない」で備える 交差点事故防止

労災事故防止 ◆トラックの荷台から…「墜落・転落」、「挟まれ」防止◆

◆2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命 他人の命◆

◆ 交差点・バック事故 止まらず ◆

- STOP！ 交差点事故 (前方不注意と車間距離)
- STOP！ バック事故 (特に、構内・駐車場・現場内)

車間距離を十分にとろう！ 追突を未然に防止しよう

- 積み下ろし作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう
- 鋼材、資材の積み下ろし作業中の、手・指・足のはざまれ事故に注意しましょう
- ハウス、トイレの積み下ろし作業時の、脚立・屋根からの転落に注意しましょう
- 敷き鉄板の積み下ろし作業時、ユニック作業に注意しましょう

構内も停止するまで、運転中

24秒に1人、年間135万人が交通事故死 5~29歳の子ども・若者世代の死因第1位

2018/12/7(金) 18:44

世界保健機関（WHO）は7日、世界で年間135万人が交通事故で死亡している最新報告書を発表。この数字は、24秒に1人が交通事故死していることを意味する。交通事故の年間死者数は直近の3年間で約10万人増加し、今や5~29歳の子ども・若者世代の死因第1位となっている。

旭川 踏切事故 回送列車と軽乗用車衝突

踏切の遮断機は下り、警報機も鳴っていた

「前を見ておらず、踏切に気づくのが遅れた」

普通列車1本が運休し、同社は乗客約20人をタクシーで輸送

◇踏切手前 確実な『一旦停止』、左右の安全確認、先詰まりに注意◇

2018/12/07 09:57

6日午後9時25分ごろ、旭川市東旭川町下兵村のJR石北線の踏切で、男性（23）の軽乗用車と回送列車（1両編成）が衝突した。男性は腕や腰を打撲する軽傷を負った。列車の乗員にけがはなかった。JRによると、事故当時、踏切の遮断機は下り、警報機も鳴っていた。旭川東署によると、男性は「前を見ておらず、踏切に気づくのが遅れた」と話しているという。この影響で普通列車1本が運休し、同社は乗客約20人をタクシーで輸送した。

バックしてきた車にはねられ、意識不明の重体

◇バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう◇

◇バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』◇

2018/12/7(金) 19:42

7日午前8時半ごろ、長野市の交差点で、歩いていた女性（72）がバックしてきた軽乗用車にはねられ、意識不明の重体となっています。軽乗用車を運転していた男性（78）にけがはありませんでした。

午後5時 下校途中の小1男子児童（7）

軽ワゴン車にはねられ、意識不明の重体

◇薄暮時間帯・夜間、ヘッドライトは、『遠目（ハイ・ビーム）』が基本…早期発見で事故防止◇

2018/12/7(金) 23:22

7日午後5時ごろ、愛知県の路上で横断中の下校途中の小学1年の男子児童（7）が軽ワゴン車にはねられ意識不明の重体です。警察は軽ワゴン車を運転していた48歳の会社員の男性（48）から話を聞くなどして、詳しい事故の原因を調べています。